

# センシング技術の導入事例

## 背景

沖縄製粉(株)では老朽化した機器の更新に加え、作業者が監視するだけでよい省力化や、作業者が「勘」で行っていた部分の「見える化」、「数値化」を進めていました。

特に、ラインアウトによる成分測定インライン化や「故障した場合に対応に時間を要する機器」の監視技術の導入が必要でした。

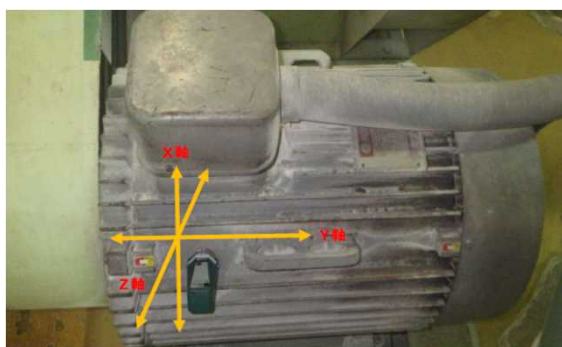
## 内容

当センターは、県内のものづくり企業間、学術研究機関等との産学官連携や交流を通し、新たなビジネス・イノベーションの創出など本県のものづくり振興に繋げることを目的に「沖縄ものづくり技術展」を開催しています。

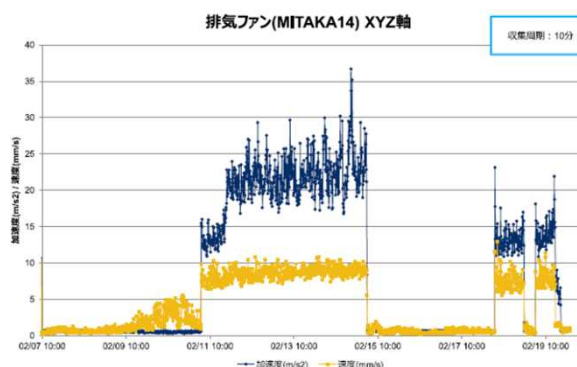
沖縄製粉は出展企業である横河ソリューションサービス(株)とのマッチングによりセンシングシステムの試験運用を開始しました。電動機、軸受部の振動データを収集し、異常兆候を捉えることが可能であるかの検証や、常時、振動の影響を受ける設備に対してデータ収集が可能であるかの検証等を行いました。

## 成果

- ①対象設備の振動、温度データを監視することで異常兆候を捉え、故障にいたる前の最適な時期に保全を行い、保守作業の効率化を図りました。
- ②突発的な故障を防ぎ、「止まらない操業」を実現しました。



排気ファンにセンサを設置した状況



排気ファンのモニタリング結果